

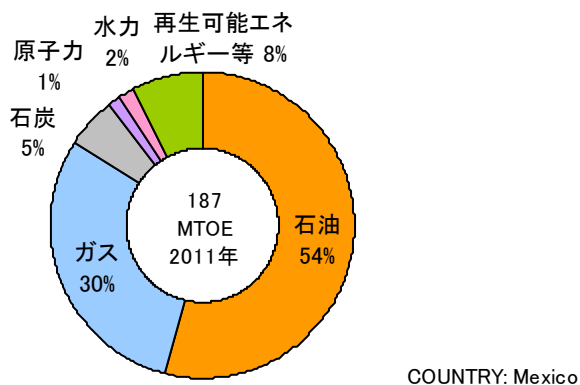
3-3 メキシコ

1. サマリー

1. エネルギー事情

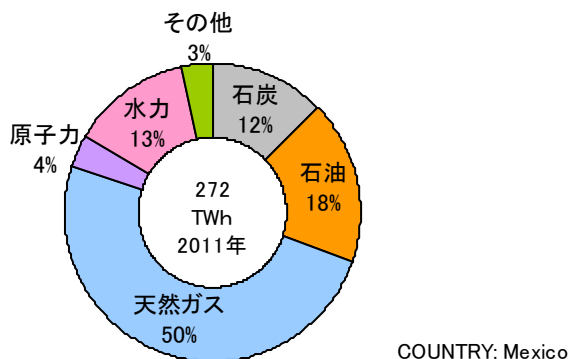
- (1) 一次エネルギー供給量 (2011年) : 187 百万 TOE (日本の 41%)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2011年) : 1.71TOE/人 (日本の 47%)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 122%
- (4) エネルギー起源 CO2 排出量 (2010年) : 416.9 CO₂ 換算 ton (日本の 37%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO2 排出量 (2010年) : 3.85 CO₂ 換算 ton/人 (日本の 43%)
- (6) エネルギー別可採年数 (2011年末) : 石油 10.6 年、天然ガス 6.7 年、石炭 77 年

一次エネルギー供給構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balance of OECD Countries 2012

電力供給構成 (2011年)



(出所) IEA, Energy Balance of OECD Countries 2012

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- メキシコのエネルギー政策機関はエネルギー省 (SENER : Secretaria de Energia) で、炭化水素(石油・ガス)、電力、計画・技術開発の 3 部門から構成されている。2012 年 12 月に新大統領 Mr. Enrique PEÑA NIETO が就任したことに伴い、エネルギー大臣には Mr. Pedro Joaquin Coldwell が新たに任命された。
- エネルギー省の下には、石油・ガス事業を担う国営 PEMEX と、電力事業を担う国営 CFE がある。また、国内の電力・天然ガス市場の事業や料金に係る規制などを行うエネルギー規制委員会 (CRE) が設けられている。

(2) 基本政策

- 2010 年 2 月に発表した National Energy Strategy 2010-2024 が、現在のエネルギー政策の基本となっている。この中では、エネルギー安全保障と経済効率性、環境負荷の低減という 3E の達成を原則とする。3E の達成に向けては、自国が有する石油・天然ガス資源の生産量を維持や、クリーンエネルギーの利用拡大によるエネルギーミックスの多様化、省エネルギーを進める。

(3) 最近の動向

- 2012 年 5 月のエネルギー大臣の発表によると、電力需要の大きな拡大を予測している (290TWh@2012 年→480TWh @2026 年)。電源構成では、原子力発電や再生可能エネルギー (水力、風力、太陽光) を中心に供給を増やし、化石燃料の比率を引き下げることを目指す。
- 2012 年 12 月に Mr. Enrique PEÑA NIETO が新大統領となり、Mr. Pedro Joaquin Coldwell が新エネルギー大臣に就任した。新大統領は、石油ガス部門で外資の参入を促すことや、PEMEX の民営化を検討している。

3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 日本とメキシコとの間に、現在、エネルギーの貿易関係はない。
- 投資に関しては、2003 年実施の非随伴天然ガス鉱区における MCS 契約の入札第 1 ラウンドで Inpex が Cuervito、Fronterizo 鉱区を Petrobras 等とともに落札した。三井物産が 25%出資している AltamiraLNG 受入基地は 2006 年 10 月に操業開始した。さらに日本企業が参加する複数の IPP 事業が CRE の許可を受けており、三菱商事(Tuxpan II, 99 年 6 月、Altamira II, 00 年 4 月、Tuxpan V, 九州電力と共同, 04 年) や三井物産 (Valladolid, 04 年) などである。一方環境関連では、住友商事による中南米諸国を対象とする省エネルギー、代替エネルギー事業向け投資ファンドへの出資や、前述の PEMEX の温室効果ガス排出削減に向けた製油所改修などが挙げられる。

2. 主要エネルギー指標

(2011 年)

(1) 一次エネルギー供給量		187 百万 TOE
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		1.71 TOE/人
(3) GDP 当たりの一次エネルギー供給		0.20 TOE/千\$
(4) エネルギー自給率 (2010 年)		122 %
(5) エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2010 年)		416.9 百万 CO ₂ 換算 ton
(6) 一人当たりエネルギー起源 CO ₂ 排出量		3.85 CO ₂ 換算 ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	5 %
	石油	54 %
	ガス	30 %
	原子力	1 %
	水力	2 %
	再生可能エネルギー等	8 %
(8) エネルギーの輸入依存度		-22 %
(9) 石油の輸入依存度		-58 %
(10) 輸入原油の中東依存度		(輸入なし) %
(11) 原油輸入先	第 1 位	(輸入なし)
	第 2 位	
	第 3 位	

(出所) (1)～(4)および(7)～(9)は IEA, Energy Balances of OECD Countries 2012

(5)～(6)は IEA, CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2012

(10)～(11)は IEA, Oil Information 2012 Edition